

生涯学習グループ

－ 地域の教育力を生かした授業実践 －

管内の各学校では、学校支援センターの機能を生かし地域の人材や団体と連携・協力して授業の充実を図っています。

○一人一人の子どもへのきめ細かな指導

- ・小学校5年の家庭科のミシンを扱う授業で、各学習グループに一人ずつ学校支援ボランティアが入り指導したことにより、技能の確実な習得ができた。

○外部人材の専門的な知識や技能を生かした指導

- ・中学校3年の国語科「書写」の授業で、毛筆の専門家と連携した指導により、字形が整うなど技能の向上がみられた。
- ・小学校5年の総合的な学習の時間「米作り」で、地元農家の方と連携・協力した指導により、田植えから稲刈り、わらぞうりづくりまで年間を通した一連の体験活動を充実することができた。

○多様な職場選択を可能にした指導

- ・中学校2年の総合的な学習の時間「チャレンジウィーク(職場体験)」で、行政機関や商工会、福祉施設など地域全体と連携・協力した取組により、生徒が主体的に職場を選択し、目的を明確にした体験活動を行うことができた。
〔地域や団体の方の多くが、学校で子どもにうまく教えられるように、自分たちも練習したり学んだりしています。〕
〔また、子どもとの触れ合いを楽しみにしているという声も多く聞かれます。〕



『平成20年度学校教育の指針』(群馬県教育委員会)には、「地域の教育力の活用」として「専門的な知識や技能をもった外部人材と連携した授業の推進」「学校支援センターの運営体制の充実と活動内容の工夫」が明記されています。

利根教育事務所では、来年度も学校訪問をさせていただき、地域の教育力を生かした取組事例の収集及び情報の提供、助言等を行っていきたいと考えています。